

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人田中秀恵の上告趣意は、事実誤認、量刑不当の主張であり、被告人本人の上告趣意は、事実誤認の主張であつて、いずれも刑訴法四〇五条の上告理由にあたらない。なお、所論にかんがみ職権で調査するも、いまだ同法四一條を適用すべきものとは認められない。

よつて、同法四一四条、三八六条一項三号、一八一條一項但書により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和四八年二月一日

最高裁判所第一小法廷

| | | | | |
|--------|---|---|---|-----|
| 裁判長裁判官 | 藤 | 林 | 益 | 三 |
| 裁判官 | 大 | 隅 | 健 | 一 郎 |
| 裁判官 | 下 | 田 | 武 | 三 |
| 裁判官 | 岸 | | 盛 | 一 |